

平成 21 年度室内環境学会第 1 回評議員会議事要旨

日 時：平成 21 年 12 月 13 日（金）17:20～18:40

場 所：近畿大学 11 月ホール 小ホール

出席者：東、阿部、埋橋、榎本、大塚*、鍵、川崎*、
神、須山、関根、中山、新田、平野、牧野*、
松木、山口、山村
斎藤

事務局：中島、松村、色摩

役員会：小野、中井、川上、柳、篠原、野崎、樺田、
柳沢*

欠 席：雨谷、岡本、小竿、熊谷、田中、長谷川、渡
邊

*委任出席

議事次第

1) 議長選出

会議の開催に先立ち、議長に東評議員が選出された。

2) 平成 21 年度事業報告等について

小野会長より、標記の件について報告があった。昨年度と比較して会員数が 56 名減少したことについては、会費未納の会員に対し、会則を適用して退会扱いとしたことの影響が大きい旨説明があった。今後も会費の納入状況を見ながら、適切に対応したいとの見解が示された。その他総会・研究発表会、学会誌発行、ニューズレター配信、役員会開催、評議員会開催、講演会・シンポジウム開催及び協賛等について報告があった。

3) 「室内環境学概論」準備状況について

川上出版委員長より、標記出版に関して進捗状況が報告された。

4) 委員会等報告

小野会長より別紙資料に基づき、各委員会及び支部活動等について報告があった。

5) 平成 21 年度中間収支報告

松村会計より、H21 年度中間収支報告に関して報告があった。またこれらの報告に対し、未納者の動向や対応について質疑応答があった。

また野崎監事（H20 年度当時）から平成 20 年度会計監査報告がなされた。上記両報告は承認された。

6) 平成 22 年度事業計画案について

小野会長より標記計画について提案があった。総会・研究発表会の開催、学会誌の発行、ニューズ

レターの発行、講演会等の開催、委員会活動・支部活動・分科会活動・事業活動の推進、学会活性化等の方針が示された。特に、日韓台による合同英文誌発行の模索（学術委）、定期的な学会誌の発行及び室内環境学概論の出版（出版委）、WG 以外からの標準化法認定申請を受ける準備（標準委）、1 月の講演会開催と表彰制度の拡充（事業委）、日韓台の協定に基づきながら台湾病態建築診断協会との関係についての検討（社会連携委）、ホームページの充実とアーカイブ化及び広告の導入（広報委）、1 月末開催予定の研究発表会（九州支部）、会員拡充（東北支部）、学会誌への成果投稿や勉強会の開催（化学物質）、具体的な調査研究の展開（燃焼器具）、未納会費の回収作業（事務局）等の活動計画が述べられた。一方微生物分科会は、H22 年度は一旦活動を休止することとなった。

これに対し、ホームページでの論文の公開について質問があり、現状での公開方法（5 年以前については一般公開、それ以外は会員限定）とテキスト化について説明がなされた。以上の議論を踏まえ、事業計画案は原案通り承認された。

7) 平成 22 年度予算案について

小野会長より、別添の予算案が示され、各項目について説明があった。これに関し、会員数の減少と H21 年度中間収支報告を受け、会費値上げの可能性について質問があった。小野会長から、総会において予算が逼迫している現状を会員に説明するとの回答があった。また支出に占める出版費用の比率が高い件について、定期発行化が軌道に乗ってきたところであり現段階での経費削減は難しいとの見解を示すとともに、H21 年度最終決算をみながら各支出の見直しを行ないたいとの説明があった。またその上で H22 年度中に H23 年度以降の会費値上げの必要性について役員会・評議員会で議論しながら判断したい旨回答があった。

これに対し、会員減少の原因を精査すべきであるとの意見が出された。また現在進行中の「室内環境学概論」出版の成功は会員獲得に効果ありと考えられ、積極的な広報が必要との意見があった。更に企業に対しても各人が具体的な目標設定をして行動すべきとの意見も出された。以上の議論を踏まえ、予算案は承認された。

8) 平成 21 年度室内環境学会論文賞について

小野会長より、標記論文賞に Ishibashi らの論

文” Lead and cadmium in indoor dust in Japanese houses - relationship with outdoor sources” が選考された旨報告があった（選考委員会委員長：池田副会長）。また事前のメール会議での議論を含め、本論文を論文賞に決定した。

9) 関西支部設立申請の件

関西支部設立申請に関し、申請者の東評議員から説明があり、役員会で承認された旨報告された。

1 0) 新評議員の推薦について

小野会長より、渡邊文雄氏、東実千代氏、濱田信夫氏及び吉田俊明氏の4名が新たな評議員（任期：H21～H24）として推薦された旨報告があり、承認された。

1 1) その他

・H20年度大会長奨励賞（口頭発表）の2件について紹介があった。

・H22年度総会・研究発表会について、中井次期大会長より紹介された。かながわ県民センターにおいて平成22年12月15・16日に予定しているとの報告があった。また実行委員会への協力の呼びかけも行なわれた。

・川上出版委員長から、広告紹介の依頼があった。

以 上

平成22年度予算(案)

歳入					H21.12.13
適用	内訳	単価	数	決算	
前年繰越金					¥-112,000
年会費(H20年同数)					
	一般	¥5,000	406	¥2,030,000	
	法人	¥30,000	55	¥1,650,000	
	学生	¥1,000	36	¥36,000	
未収金回収					
雑収入	学会誌販売、他			¥50,000	
シンポジウム					
委員会等返金				¥250,000	
総会・研究発表会				¥2,000,000	
広告収入	学会誌			¥200,000	
	ホームページ			¥100,000	
計					¥6,204,000

歳出					
適用	内訳	単価	数	決算	
委員会活動費					¥100,000
	出版委員会			¥100,000	
	学術委員会			¥100,000	
	標準化委員会			¥100,000	
	広報委員会			¥100,000 *	
	社会連携委員会			¥100,000 *	
	事業委員会			¥100,000	
支部活動費					
	九州支部			¥100,000	
	東北支部			¥100,000	
	関西支部			¥100,000	
分科会活動補助					
	化学物質分科会			¥50,000 *	
	燃焼機器分科会			¥50,000 *	
総会・研究発表会費用					¥850,000
印刷費	学会誌	¥850,000	2	¥1,700,000	
	要旨集			¥950,000	
概論出版執筆謝礼					¥200,000
Webサイト管理費					¥100,000
事務費、通信費					¥1,280,000
雑費					¥100,000
次年度繰越金					¥24,000
計					¥6,204,000

*学術委員会、各分科会予算は合算して大括りとする